



防衛装備庁下北試験場

【防衛装備庁とは】

防衛装備品の研究開発、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行、国際協力の推進を図ることを任務として、平成27年10月に防衛省の外庁として設置されました。

【下北試験場とは】

防衛装備庁の3つの試験場のうち、青森県の下北半島に所在する試験施設です。砂丘地帯という特性を活かして、砲弾の射撃試験や火薬類の爆破試験、安全性の確認等に関する試験評価を行っています。



Message from Staff

この仕事のやりがいは何ですか？

私は現在、下北試験場の試験班で研究職技官として勤務しています。下北試験場では、各研究機関や企業と協力し、自衛隊が使用する防衛装備品の研究開発における試験業務を行っています。私は試験班の一員として高速度ビデオカメラや弾道レーダなどの計測機器を運用することで、適切なデータ取得に尽力しています。防衛装備庁の魅力は、装備品の構想から形になるまでのプロセスに当事者として携われることだと思います。私も試験の担当を任せられ、試験の構想の組立、器材の調達、データの取得に至るまで一貫して担当しました。よりよい成果を出せるように最善を尽くし、試験を完遂できたときの達成感他では味わえないものだと感じました。



防衛装備庁は自衛隊という組織のイメージから少し職場の雰囲気固いと思っている方も多いと思います。しかし、実際には事務官、研究職技官、自衛官と様々なバックグラウンドを持つ方々がチームとなり、直面した課題への解決に取り組むため、職種を問わずしっかり相談や議論をするべきという雰囲気があり、風通しの良い職場だと感じています。

これまでどんな業務を担当してきましたか？

現在働いている下北試験場では、鳥取砂丘よりも大きい日本最大の砂丘で、実際に開発中の弾薬類やレールガンといった最新の装備品の試験評価を行っています。私は、行政職事務官としてそんな試験に関わる経理や契約関係の業務を行っています。国の予算を預かるということは、目に見える数字以上に重みのあることですが、そういった業務を通して得られる経験は唯一無二であると思います。日常生活では決して見ないような規模の契約を扱うことは相応の達成感が得られますし、大きなやりがいであると感じます。また、私は小さい頃から漫画やアニメ、ゲームが好きで”カッコいい装備品”に興味がありました。そういった漠然とした好奇心を目の前で実現していくのは今の仕事でなければできなかったように思いますし、戦車、艦船、航空機などスケールの大きいものに携われるのは誇れるところです。

射撃試験を目の前で見た時には、相当の迫力を感じましたが、この射撃試験を行うまでには、契約を含めて様々なプロセスを経ており、私の仕事なしでは実現しなかったんだなと思うと感慨深い気持ちになりました。日々行われる試験で成果を感じられるので、射撃を見学してモチベーションアップしたり、仕事の合間に砂丘で寝転んだり、海岸で黄昏たり、楽しみながら仕事をできるのが一番のやりがいです。



もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

採用全般に関するお問い合わせ先
防衛装備庁長官官房人事官付採用担当
TEL:03-3268-3111 (内線35823)
〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5-1
<https://www.mod.go.jp/atla/index.html>

下北試験場に関するお問い合わせ先
防衛装備庁下北試験場業務班
TEL:0175-48-2111 (内線210~214)
〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢荒沼18